

令和 5 年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	大峽武
全体計画				経費区分	経常的経費		内線	3425			
事務事業名	4182 金融対策事業										
所 属	150300 産業振興部・商業観光課										
施 策	06023200 商業の活性化										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費									
	事業	020000 金融対策事業									
事業目的						事業概要・効果					
<p>中小企業者に対し、経営上必要とする資金の融資あっせん、金融保証料及び利子補給を行うことにより、中小企業の振興を図る。</p>						<p>新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた事業者をはじめ、中小・小規模企業者の皆様の資金繰りを支援するため、継続して金融保証料及び利子補給を行う。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<p>制度資金 融資あっせん（市：件数130件、融資金額1,451,057千円、県：件数18件、融資金額623,600千円）、利子及び保証料補給金（市：件数214件、補助金額72,466千円、県：件数18件、補助金額11,320千円）</p>	<p>制度資金 融資あっせん（市：件数106件、融資金額335,140千円、県：件数28件、融資金額214,100千円）、利子及び保証料補給金（市：件数103件、補助金額11,123千円、県：件数28件、補助金額4,210千円）</p>
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<p>制度資金 融資あっせん（市：件数117件、融資金額549,960千円、県：件数47件、融資金額531,650千円）、利子及び保証料補給金（市：件数137件、補助金額18,563千円、県：件数47件、補助金額9,202千円）</p>	<p>市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給</p>
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<p>市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給</p>	<p>市・県制度資金の融資あっせん及び利子及び保証料補給</p>

指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		1,030,713	1,043,091
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,000,000	1,000,000
一般財源	30,713	43,091	
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	6,262.2	6,262.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	325.6	325.6
	計	6,587.8	6,587.8
市民一人当たりの経費	19.8	20.1	
総額	1,037,300.8	1,049,678.8	

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	82	消耗品費82
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	27,765	金融保証料26,681 利子補給金1,084
その他	1,002,866	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,397 会計年度任用職員社会保険料390 郵便料79

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	86	消耗品費86
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	40,000	金融保証料34,500 利子補給金5,500
その他	1,003,005	預託金1,000,000 会計年度任用職員報酬・手当2,463 会計年度任用職員社会保険料410 郵便料132

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	コロナ禍・物価高騰等により経営に影響を受けた事業者をはじめ、中小規模企業者の資金繰りを支援するため、継続して資金の融資あっせんと保証料・利子補給を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	経済動向を注視しながら、国や県の財源・制度を活用し、必要となる事業者に必要な支援を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	預託金の貸付先の金融機関など関係機関と連携し、事業者には制度の周知など広く行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍や物価高騰、長引くロシアのウクライナ侵攻、気候変動などの影響で経済動向が大きく変動しているが、引き続き資金繰りに困られている中小事業者のためニーズに沿った支援を行う。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

地域経済の発展はもとより、新型コロナウイルス感染症や電気料金の高騰、物価の高騰当の影響を受けている中小企業者への資金繰りに対する支援は必要不可欠であり、経営基盤を安定させるためにも本事業は有効な施策の一つである。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

企業活動において資金需要は重要。
特に中小企業における資金需要に対し支援するこの事業は重要。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	大峽武
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4183 商業振興事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023200 商業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費					
	事業	030000 商業振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
事業者及び商業団体等の実施事業支援、商業の現状把握及び課題対応により、商業の振興を図る。 サービス産業振興につながる事業者・団体の活動に対し、関係機関との連携を図り、起業支援や活動支援を通じて商業の振興を図る。				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ須崎市経済の活性化を図るため、売上が減少した事業者の支援を行うとともに、消費の喚起を促す。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
中心市街地活性化事業補助 687千円 街路灯設置及びLED化事業補助 224千円 街路灯電気料補助事業 370千円 わざわざ店等開設支援事業 6,618千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業補助 2,503千円 街路灯設置及びLED化事業補助 122千円 街路灯電気料補助事業 400千円 わざわざ店等開設支援事業 3,916千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
中心市街地活性化事業委託料 7,878千円 街路灯設置及びLED化事業補助 435千円 街路灯電気料補助事業 491千円 わざわざ店等開設支援事業 6,236千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円	中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助	中心市街地活性化事業補助 街路灯設置及びLED化事業補助 街路灯電気料補助事業 わざわざ店等開設支援事業 商業団体等が行う事業等に対する補助

指標名	新規開設店舗累計数				
算式	前年度までの新規開設店舗累計数に当該年度新規開設店舗数を加えた数				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	11	18	24	31
	実績	11	18		
指標選定の理由	新規出店によるにぎわい創出				
最終年度目標の根拠	新規出店数				
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算
事業費		194,836	35,738
特定財源	国庫支出金	7,019	8,440
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	6,300	6,010
一般財源		181,517	21,288
人員数(人)	正規職員	1.8	1.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2.1	0.1
人員コスト	正規職員	12,524.4	11,828.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	3,418.8	162.8
	計	15,943.2	11,991.4
市民一人当たりの経費		4.0	0.9
総額		210,779.2	47,729.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,347	消耗品191、燃料費43、印刷製本費3,264、光熱水費91、修繕料1,758
12節 委託費	13,458	中心市街地活性化事業(恋人の聖地事業)7,878、やまじゅう指定管理(恋人の聖地事業)5,530、看板作成50
14節 工事請負費	1,078	やまじゅう利用者駐車場整備1,078
18節 負担金補助及び交付金	167,952	お店限定応援商品券事業補助金151,271、商業団体強化育成事業補助金6,500、わざわざ店補助6,236、中心市街地活性化補助金860、その他3,085
その他	7,001	会計年度任用職員報酬4,696、社会保険料732、郵便料960、電話料32、広告料99、機器賃借料323、借上料92、その他67

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	456	消耗品185、燃料費71、修繕料200
12節 委託費	16,342	中心市街地活性化事業（恋人の聖地事業）7,878、専門家派遣90、やまじゅう指定管理（恋人の聖地事業）8,374
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	18,273	商業団体強化育成事業補助金6,500、わざわざ店補助6,500、中心市街地活性化補助金860、地域おこし協力隊活動費負担金2,000、その他2,413
その他	667	旅費146、使用料及び賃借料459、役務費62

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	コロナ禍の影響で落ち込んだ経済対策として、お店限定応援商品券事業を実施した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	9月に「賑わい創出拠点やまじゅう」を供用開始し、指定管理によるチャレンジショップを活用した創業支援、地域振興の場として活用する。 わざわざ店補助、商業団体強化育成補助、中心市街地活性化事業補助など、ニーズに沿った支援を行う。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国庫補助など活用する。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

やまじゅうチャレンジショップ、わざわざ店補助など活用した創業者の支援を行うとともに、地域おこし協力隊制度を活用した空き店舗の活用により地域振興を図る。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
新型コロナウイルス感染症等の影響により消費が落ち込んだ個々の商店に活気を取り戻し、ひいては市街地全体の活性化について商業者自らが考え、取り組むためにも必要な支援であり、有効な施策である。		商業の活性化、中心市街地の活性化に対し有効かつ重要な事業	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5 年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	塩崎
	全体計画						経費区分		-		内線	3425
事務事業名	4185 観光施設管理事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	010000 観光施設管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光客の皆様が、安全で快適に楽しんでいただけるよう、適切に施設の維持管理を行う。						米子大瀑布、五味池破風高原、峰の原高原等を中心とした観光地や、ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)等観光施設の維持管理に係る事業を行う						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費23,660千円 その他観光施設4,059千円 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）	須坂市ふれあい健康センター（湯っ蔵んど）保守点検委託、手数料、備品購入費及び機器賃借料、修繕費 その他観光施設 指定管理業務委託（4施設）

指標名	観光施設入館者数				
算式	湯っ蔵んど入館者数/年間				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	未定	未定	未定	280,000
	実績	199,155	222,848		
指標選定の理由	施設管理事業にて維持管理を行っている施設であるため。				
最終年度目標の根拠	近年は近隣に類似施設が多くある中、入館者数は逡減傾向にあるため2019年度278,971人の入館者数を維持する				
指標名	観光地利用者数				
算式	観光地利用者統計調査による				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	800,000
	実績	621,600	749,200		
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		74,823	85,370
特定財源	国庫支出金	0	1,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	12,000	24,933
一般財源		62,823	59,437
人員数(人)	正規職員	1.3	1.4
	会計年度(フル)	0.3	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.7
人員コスト	正規職員	9,045.4	9,741.2
	会計年度(フル)	1,051.2	0.0
	会計年度(パート)	0.0	1,139.6
	計	10,096.6	10,880.8
市民一人当たりの経費		1.6	1.8
総額		84,919.6	96,250.8

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2	品代2
10節 需用費	6,984	修繕費6,445 ほか539
12節 委託費	21,331	指定管理者委託料15,481 ほか5,850
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	41,019	市民無料入浴負担金8,731 ほか32,288
その他	5,487	報酬2,041、職員手当等381、共済費361、役務費1,732、使用料及び賃借料972

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	5	謝礼5
10節 需用費	33,203	消耗品費366、光熱水費354、修繕費32,483
12節 委託費	33,811	施設管理委託料1,590、保守委託4,325、指定管理者委託料15,481 ほか12,415
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,249	市民無料入浴負担金10,200 ほか49
その他	8,102	報酬2,066、職員手当等397、共済費389、役務費1,965、使用料及び賃借料1,171、備品購入費2,100、公課費14

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	施設維持のため、必要に応じ修繕した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	湯っ蔵などは市民の福祉施設や指定避難所として指定され、市民生活に貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	修繕箇所を把握し、優先順位をつけて修繕に努める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

利用者が快適に利用できるよう観光施設の維持管理に努めている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

観光施設の維持管理を適切に行うことで安全性の確保やサービスの向上を図り、来訪客の満足度を高めるためにも必要な施策である。

2次評価コメント

観光施設の維持管理を適切に行う上で重要な事業

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	塩崎
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4186 観光・誘客宣伝事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070103 商工費・商工費・観光費					
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業					
事業目的				事業概要・効果			
観光宣伝及びイベント等の開催により観光誘客を図る				コロナ禍の状況ではあるが、観光パンフレットの作成や観光情報の提供、観光案内誘客業務委託（須崎市観光協会）や観光PR業務委託等により、観光誘客を図る。 。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 観光案内誘客業務委託(21,600千円)や観光PR業務委託(8,000千円)等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託(21,600千円)や観光PR業務委託(8,000千円)等による観光誘客
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客	観光パンフレットの作成、観光情報の提供 イベントの実施 観光案内誘客業務委託や観光PR業務委託等による観光誘客

指標名	シルキー観光案内所への観光客数				
算式	シルキー観光案内所での観光客利用者数				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	2,000	2,000	25,000	3,000
	実績	2,214	2,571		
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる				
最終年度目標の根拠	大型イベント等の実施の有無により利用者数が増減するが、コロナ禍の状況もあり2019年度の実績値(2,979人)を維持する				
指標名	観光地利用者数				
算式	観光地利用者統計調査による				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	800,000
	実績	621,600	749,200		
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため				
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		84,333	110,869
特定財源	国庫支出金	38,840	52,005
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,000	0
一般財源		40,493	58,864
人員数(人)	正規職員	1.7	1.4
	会計年度(フル)	0.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.3
人員コスト	正規職員	11,828.6	9,741.2
	会計年度(フル)	1,752.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	488.4
	計	13,580.6	10,229.6
市民一人当たりの経費		1.9	2.3
総額		97,913.6	121,098.6

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	561	消耗品費217、印刷製本費265 ほか79
12節 委託費	57,580	観光案内誘客業務47,600、観光PR業務委託8,000、観光マップシステム構築1,980
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	25,536	恋人の聖地負担金10,000、峰の原高原観光協会補助金3,540 ほか11,996
その他	656	旅費224、ほか432

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,760	消耗品465、印刷製本1,080 ほか35
12節 委託費	72,770	観光案内誘客業務57,660、観光PR業務8,000、峰の原誘客業務7,000 ほか110
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	34,860	恋人の聖地負担金20,500、峰の原高原観光協会負担金4,000 ほか10,360
その他	1,479	旅費291、ほか1,188

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	観光資源を活かし、誘客に積極的に取り組むことで観光振興に繋げている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	信州須坂観光協会が実施したスイーツスタンプラリー等は、期間中における店の売り上げに大幅に上がって効果を実感できる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	事業実施にあたり、常に費用対効果を考えながら観光施策を検証している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

・パンフレットの作成、観光情報の提供を実施した。・コロナ禍ではあったが、信州須坂観光協会と連携し、アフターコロナを見据えた観光誘客に向けた取り組みができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>長野県の強みである自然や山岳観光、更にはブランド力のある果実や味噌等の地域資源を活かしながら関係機関とも連携し、知名度向上と来訪者の確保を図るうえで有効な施策である。</p>		<p>須坂市のブランド力の向上、交流人口の増加などを図るうえで必要な事業</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	塩崎
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4187 観光施設整備事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070103 商工費・商工費・観光費					
	事業	030000 観光施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
観光地における観光案内板や案内標識の整備による観光客の誘導、回遊を促進し観光客の皆さまが安全で快適に楽しんでいただけるようにするとともに観光基盤整備を行う。				魅力ある観光地づくりと観光振興、来訪者の安全確保のため、峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金や登山道等の修繕を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
米子大瀑布遊歩道測量設計業務ほか792千円 米子大瀑布登山道権現沢橋修繕ほか3,361千円 前山つつじ公園案内看板設置工事490千円 指定避難所（須坂温泉古城荘）耐震補強等工事負担金137,980千円	峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（ふるさと寄附金）30,000千円 峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債）166,474千円 米子大瀑布整備工事7,300千円ほか
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債） 米子大瀑布整備工事ほか	峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金（辺地債） 米子大瀑布整備工事ほか
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	山間部での遊歩道の整備不足による事故件数						
算式	米子遊歩道整備不足による事故件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	
指標選定の理由	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。						
最終年度 目標の根拠	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。						
指標名	観光地利用者数						
算式	観光地利用者統計調査による数値					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	550,000	650,000	700,000	750,000	800,000	
	実績	621,600	749,200				
指標選定の理由	観光地利用者統計調査による数値のため						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		165,893	178,585
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	158,000	174,100
	その他	7,000	3,300
一般財源		893	1,185
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.8
	会計年度(フル)	0.2	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	4,870.6	5,566.4
	会計年度(フル)	700.8	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	5,571.4	5,566.4
市民一人当たりの経費		3.3	3.5
総額		171,464.4	184,151.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	7,893	観光案内看板設置工事 7,893
18節 負担金補助及び交付金	158,000	須坂市峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金 158,000
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	500	米子大瀑布登山道等災害復旧測量設計委託料 500
14節 工事請負費	3,985	観光案内看板設置工事800、米子大瀑布整備工事3,185
18節 負担金補助及び交付金	174,100	須坂市峰の原地区観光レクリエーション施設等整備事業補助金174,100
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	観光客が満足して来ていただくためには整備が必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	スキー場を整備することで、利用者や利便性向上に資することができた。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	費用対効果の検証を行い施設整備をしていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

辺地債事業を活用し、スキー場の整備をすることができたが、ソフト面で利用客増に向けた取り組みが必要。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

観光施設の安全対策と利便性の向上を図り、来訪客が快適に過ごしていただくためにも必要な施策である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

観光施設の安全対策と利便性の向上を図るうえで必要な事業

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	大峽武
	全体計画			経費区分	-	内線	3425
事務事業名	4189 シルキーホール管理事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	06023300 地域資源を活かした観光の振興						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	070104 商工費・商工費・シルキーホール費					
	事業	010000 シルキーホール管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
市民文化の向上を図り、ふれあいの場を提供するため、多目的集会施設として広く市民に開放し、利用の推進に努める。				多目的集会施設として広く市民に開放し、諸会議・各種研修会・サークル活動等の研鑽の場として利用された。 市民プラザを（一社）信州須坂観光協会に委託し、観光案内拠点や来訪者の休憩場所として活用している。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
コロナの影響で、ホールの利用者数、市民プラザの入館者数は大幅に減少した。	コロナ禍の影響で、県の警戒レベルが上がっても施設の利用は中止とせず、感染対策を取りながら開放した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
コロナ禍の影響で、減少したホールの利用者・市民プラザへの入館者も少しずつ戻ってきている。	シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。	シルキーホールは、多目的集会施設として広く市民に開放する。市民プラザは、須坂駅前の玄関口として、観光情報をはじめ、様々な情報提供のばとして活用する。

指標名	シルキーホール利用者						
算式	第1、第2ホール利用者					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	12,614	12,614	12,614	12,614	12,614	
	実績	12,614	14,966				
指標選定の理由	利用状況が的確に把握できるため						
最終年度目標の根拠	コロナ禍であるが、施設の利用を維持する。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算
事業費		9,139	9,731
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	90	4,590
一般財源		9,049	5,141
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.1	0.1
人員コスト	正規職員	1,391.6	1,391.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	162.8	162.8
	計	1,554.4	1,554.4
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,693.4	11,285.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,993	電気料1,993
12節 委託費	5,118	指定管理委託料(恋人の聖地事業)4,893、空調保守点検225
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,862	共用管理費負担金ほか1,862
その他	166	電話料36、使用料及び賃借料130

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,390	電気料2,290、修繕料100
12節 委託費	5,118	指定管理者委託料4,893、空調保守点検225
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2,000	共用管理費負担金2,000
その他	223	電話料45、使用料及び賃借料178

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	多目的集会施設として、広く市民に開放し諸会議・サークル活動等の研鑽の場として利用されている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	中心市街地（須坂駅前）立地ということで、賑わい創出の場として有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	昭和61年建設により、建物全体で修繕箇所が増えている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍で減少した利用者、来館者も回復傾向にある。利用者ニーズに沿い、利用率の向上に努める。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の維持管理を適切に行うことで利便性の向上を図り、利用者が快適に使用していただくためにも必要な施策である。		施設の維持管理を適切に行う上で必要な事業	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	春原
	全体計画			経費区分	-	内線	3007
事務事業名	4043 国際交流等事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費					
	事業	040000 国際交流等事業					
事業目的				事業概要・効果			
国際化の進展に伴い、友好都市との交流を深め、国際化に対応した人づくりを推進する。				平成6年度の中国吉林省四平市との国際友好都市の締結から親善交流事業として行っている友好訪問などは両市の友好と交流に寄与している。 また、様々な機会を通じ、国際交流の進展を図っている。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 四平市・須坂市の大学生・高校生を中心としたオンライン交流の実施	須坂市日中友好協会定期総会並びに長野県日中友好都市交流会議への参加 長野県日中友好都市中学生卓球交流大会の実施
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		32	1,487
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		32	1,487
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.1	0.1
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	695.8	695.8
	会計年度(フル)	350.4	350.4
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,046.2	1,046.2
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,078.2	2,533.2

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	30	謝礼30
10節 需用費	2	食糧費2
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	通訳等謝礼100、記念品代80
10節 需用費	310	消耗品10、食糧費300
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	997	旅費997

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	中国政府行政（四平市）とのやり取りとなることから、須坂市日中友好協会と連携して須坂市が取り組むべき事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	交流を通して国際的な相互理解につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	四平市との連絡方法はメールのやり取りに限られているが、コロナ禍の令和4年度は、オンラインでの交流を実現した。お互いの文化を実際に見て、触れることが一番であるが、そうしたことが困難な状況下でも実現できる交流方法を確立できたことには意義があったと思われる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の制約の中、オンラインでの交流事業のみの実施に留まった。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

須坂市の魅力を外国人にも伝え、新たな人の流れをつくるとともに、相互理解を深め、誰もが住みやすいまちづくりを進める。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

友好都市・中国吉林省四平市との交流を通じて、多文化共生の意識醸成をはかる。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	池上健一
	全体計画	令和 3年度 ~					経費区分	実施計画事業費		内線	3261	
事務事業名	16294 信州須坂ふるさと応援寄附金事業											
所 属	050200 総務部・政策推進課											
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費										
	事業	050000 信州須坂ふるさと応援寄附金事業										
事業目的						事業概要・効果						
<ul style="list-style-type: none"> ●信州須坂ふるさと応援寄附金の募集等を通じ、市の特色である果物をはじめ、各種地場産品のPRを行い、産業振興や地域振興につなげる。 ●返礼品への同梱物やSNSを活用し、市のPRも効果的に行い、関係人口の創出につなげる。 						<ul style="list-style-type: none"> ●須坂市の魅力や地域特性をPRすることを通じ、ふるさと納税（信州須坂ふるさと応援寄附金）の増額につなげることができている。 ●市の特産品を返礼品として送付することを通じ、須坂市のファンを増やし、継続的に寄附や市の認知拡大を図っている。 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
寄附額1,470,702,000円（寄附件数：108,607件） 寄附額は県内3位、寄附件数については県内1位の寄附受入実績となった。 ※返礼品提供事業者数の増加充実による安定した返礼品の提供体制の確立など。	寄附額2,371,412,005円（寄附件数：179,607件） ※大手寄附ポータルサイトでのPR対策（返礼品の検索対策）、返礼品同梱パンフレットの内容充実等によるリピート寄附の増加など。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
寄附額3,234,975,168円（寄附件数：251,707件） 寄附金額、寄附件数とも過去最高値となった。 ※SNSを活用した積極的な情報発信、丁寧な寄附者対応（ポータルサイトのレビュー対応）、ワンストップ特例申請のオンライン化による寄附者利便性向上等。	寄附額2,000,000,000円 （実施計画上の財政計画数値による。） ※地域産品を活用した特産品PR施策（レシピ投稿やフォトコンテスト実施）の実施、体験型返礼品の充実。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
寄附額2,000,000,000円 （実施計画上の財政計画数値による。） ※寄附者との継続的な関係構築のための各種企画実施、果物類以外の返礼品の認知拡大。	寄附額2,000,000,000円 （実施計画上の財政計画数値による。） ※寄附者との継続的な関係構築のための各種企画実施、果物類以外の返礼品の認知拡大。

指標名	信州須坂ふるさと応援寄附金の返礼品提供事業者数				
算式	ふるさと納税返礼品について提供実績（1件以上）のあった事業者数を計測				単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	寄附金増額のためには返礼品ラインナップの充実が欠かせない。また、多種多様な返礼品があることで市の認知度アップにつながる。				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		3,610,715	2,252,151
特定 財源	国庫支出金	0	6,250
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,610,714	2,239,651
一般財源		1	6,250
人員数 (人)	正規職員	1.4	2.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.6	3.0
人員 コスト	正規職員	9,741.2	13,916.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	2,604.8	4,884.0
	計	12,346.0	18,800.0
市民一人当たりの経費		69.3	43.4
総額		3,623,061.0	2,270,951.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	938,186	返礼品の調達に係る費用 938,185
10節 需用費	0	
12節 委託費	847	ふるさと納税管理システム保守委託料 605 市特設ふるさと納税サイト保守点検委託料 242
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,671,682	通信運搬費6,349、手数料814,862、基金積立金1,847,729、その他2,742

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	633,166	寄附者謝礼 633,166
10節 需用費	102	PR用商材購入費(消耗品等) 102
12節 委託費	8,347	ふるさと納税管理システム保守委託料 605、市特設ふるさと納税サイト保守点検委託料 242、その他委託料 7,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,610,536	通信運搬費2,714、寄附サイト等利用手数料535,084、基金積立金1,069,123、チャットツール使用料803、人件費2,812

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<p>税収が伸び悩む中、域外からの外貨獲得という点で必要不可欠な事業である。国(総務省)が定める一定のルールの下で運営をしていく必要があるが、須坂市の場合も制度を遵守する中で、工夫を凝らしながら寄附額の増加につなげている。</p> <p>単に寄附額の増加にとどまらず、返礼品送付を通じた須坂市の認知度向上やイメージアップという点で施策の目指す姿に直結させるための主要事業であり、事業継続の必要性は極めて高い。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	<p>2022年度(決算見込額32.3億円)の寄附額は2021年度(23.7億円)と比較しても大きく伸びている。(対前年比較で約36%増加)全国的なふるさと納税寄附金規模の伸び率(対前年比較で約23%)と比較しても、伸び率は高い。</p> <p>寄附件数も2022年度は25万件を超えており、寄附者に返礼品を送付するという「ふるさと納税」のメリットを生かし、工夫したパンフレットの同梱などにより市のファン創出や魅力PRに役立っている。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<p>寄附金の効率的かつ効果的な収納のため、多様かつ広範にわたる業務を細部にわたり体系化(棚卸し)するなどして、業務の効率化、多能工化(誰もがどの業務もできる)の工夫を図っている。数年来の大きな懸念事項であった特定個人情報を取扱うワンストップ特例申請業務についても、手順化とマニュアル作成により業務委託を実現した。また、業務全体における細部業務のマニュアル化を推進し、今後人員体制等に変更があった場合にも安定的に業務継続できる体制を構築してきた。</p>	

振り返り(決算年度の取組み課題)

寄附額の増加に伴う事業への関心の高まりにより、寄附者への返礼品を提供いただく返礼品提供事業者について、ここ数年で急拡大している。(2022年度末で100事業者を超える事業者が登録。)返礼品の品質基準の目線合わせや事業者とのより綿密なコミュニケーションが必要となっている。

また、年々自治体間の競争が激化しており、市の寄附額も伸びが鈍化していくと思われる。寄附額維持のための新たな企画展開や体験型商品などの返礼品充実などをはじめ、これまで以上に改善や工夫を凝らした事業展開が求められる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>自治体間競争が更に厳しくなる中、先行自治体として、新たな取り組みと、返礼品提供事業者と須坂ファンとの一層の関係発展に取り組んでいる。須坂市の特色を生かした更なる関係人口の創出と継続的な関係構築を目指す。</p>		<p>ふるさと納税の担当係を新設。寄附を通じた関係人口の創出、須坂ファンの増加をはかり、そのことを寄附額の増加にもつなげる。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	小林
	全体計画			経費区分	-	内線	3137、3139
事務事業名	4044 地域活性化事業						
所 属	050200 総務部・政策推進課						
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費					
	事業	010000 地域活性化事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市にしかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し、須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすとともに市民の誇りや地元愛を醸成する。				文字や写真だけでは伝えることができない動画の特性を活かし、Goolightと連携した編集動画をSNSを活用し配信する。 【新規】 デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生タイプ）（※恋人の聖地事業）を活用し、デジタル活用や地域情報の連携、観光交流人口の増加を目的とした地域アプリを新規に導入する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「結婚支援事業」の委託等により、地域活性化を図る。市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。	市内の団体や各町の活動等を番組やSNS等で紹介する。

指標名						単位	件
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	設定指標なし（「結婚支援事業」を「移住交流・結婚支援事業」に組み替えたため）						
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	組
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	設定指標なし（SNSによる情報発信における該当指標なし）						
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		3,568	19,370
特定 財源	国庫支出金	0	5,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,126	6,000
一般財源		1,442	7,870
人員数 (人)	正規職員	0.7	1.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	4,870.6	10,437.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,870.6	10,437.0
市民一人当たりの経費		0.2	0.6
総額		8,438.6	29,807.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	90	地方創生に関する研修会講師謝礼 90
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,320	地域情報チャンネル番組制作 1,320
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	712	地域づくり団体活動支援補助金 712
その他	1,446	地域づくり団体等活動支援貸付金1,426、費用弁償20

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	400	謝礼400
10節 需用費	30	食糧費30
12節 委託費	7,320	地域情報チャンネル番組制作1,320、関係・交流人口拡大促進業務委託料等6,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,500	地域づくり団体活動活動支援補助金1,500
その他	10,120	費用弁償120、地域アプリ使用料等5,000、貸付金5,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<p>今後も市民との共創で地域づくりを進めていく。 地域団体からの支援に対する期待は大きい。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<p>地域づくり団体の活動支援を通じて地域課題解決に貢献している。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<p>補助金に頼らず将来的には自走化、自立に向けたアドバイスや伴走支援が重要</p>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

引き続き地域団体への支援を実施するほか、地域づくりを担う若者の育成が急務（背景：地域づくり構成員の高齢化、固定化）
若者が地域に入り込みやすい環境づくりや人材育成に関する取組を地域と一体となって推進していく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

住み続けられるまちづくりと、地域を担う若者の育成のために地域団体の支援を継続する。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

地域活性化に取り組む団体を支援、紹介することにより、市民の須坂市に対する誇りを醸成する。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 孝子
全体計画	平成26年度	～	平成28年度	経費区分	実施計画事業費	内線	3522				
事務事業名	4227 蔵の町並みキャンパス運営助成事業										
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課										
施 策	06023400 特色を生かした地域振興の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費									
	事業	040000 蔵の町並みキャンパス運営助成事業									
事業目的						事業概要・効果					
歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物を活用し、キャンパスとして学生が研究・交流する中で、21世紀を担う知の創出と情報発信を行う。また、新たな研究・教育機能を持った都市づくりを産・学・官・民の協働により行う。						歴史と文化の集積である蔵造の建物等を学生の研究や授業の場として活用し、その成果を発信し、文化・産業遺産として次世代へ継承するとともに、産・学・官・民の協働による新たな研究機能をもったまちづくりを行う。 信大、県立大、清泉、高専、文化学園大など					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
4校5学部（学科）300人（コロナ禍の影響による）	5校7学部（学科）520人（コロナ禍の影響による）
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
7校8学部（学科）750人（コロナ禍の影響による）	7校9学部（学科）1000人
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
7校9学部（学科）1000人	7校9学部（学科）1000人

指標名	蔵の町並みキャンパス年間延べ参加者数						
算式	年間延べ参加者数					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	420	1,000	1,000	1,000	1,000	
	実績	520	750				
指標選定の理由	須坂市の歴史的資産、資源を活用した蔵の町並みキャンパスにより、地域振興を図るため。						
最終年度目標の根拠	参加大学の学生数（過去の実績を基に算定）						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		840	900
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		840	900
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,783.2	2,783.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,783.2	2,783.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,623.2	3,683.2

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	840	蔵の町並みキャンパス事業負担金840
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	900	蔵の町並みキャンパス事業負担金900
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市が主体となり実施する事で、大学、地元事業者、行政が連携して取り組むことができ、県内外の学生に須坂を知ってもらい、来訪するきっかけとなっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	県内外の学生が須坂を訪問する際は、市内の文化施設や博物館などを見学したり、伝統的な街並みの散策などを行ない、賑わいの創出につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	県内外の学生に須坂市を知ってもらうことで、地元企業とのつながりができ、成果は向上してる。授業以外にも市内を見学する学生もおり、効率性向上につながっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ禍の影響もあり、人数を減らした取り組みや開催方法を工夫したのもあったが、参加者は前年度より約750人であった。産・学・官・民の協働については、他にも取組が進められるよう更なる連携を図る。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
多くの学生が伝統的な街並みの散策などを行ない、蔵造の建物等を研究材料として活用することで賑わいの創出にもつながった。今後は新たな取り組みも生まれるよう模索していく。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
学生がキャンパスとして歴史と文化の遺産である蔵造り等の建物の残る街に入り研究・交流することにより、地域の活性化やまちづくりにつながる	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	